

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としまして
ないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査
研究期間	2021年 9月学長了承日～2022年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に小児科を受診された、おたふくかぜワクチン被接種の方 2020年 1月 1日～2022年 3月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義） 本研究の目的は国産2社のおたふくかぜワクチン接種後の副反応に関して多数例についての調査を行い、おたふくかぜワクチンの定期接種化を検討するための資料とすることです。 （研究の方法） 代表機関から大学病院等の全国の医療機関に郵送で調査を行い、データを集めて解析します。当院は代表機関から依頼された情報の提供のみを行います。

（外部への試料・情報の提供）

2020年1月以降におたふくかぜワクチンを接種した1歳以上、小学校就学前の患者。被接種者の年月齢、性別、接種日、ワクチン製剤の種類、接種回数、接種4週間後および8週間後の健康状態、副反応が 疑われる症状発現時はその状況、同時接種ワクチンの有無とその種類を個人が特定される情報を除いて、匿名化したうえで専用のWebシステムに入力します。

（研究組織）

＜研究代表機関＞

国立感染症研究所 感染症疫学センター 多屋 馨子

※当院は情報提供のみを行います。

（個人情報の取り扱いについて）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、研究代表機関に送付して統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 小児科

竹島 泰弘（研究責任者）

下村 英毅（研究担当者）

TEL | （平日 9：00～16：30） 0798-45-6352

（上記時間以外） 0798-45-6111（代表）